

報 告 書

開催日時	平成 24 年 5 月 14 日(月) 午後 7 時～午後 8 時 20 分	
開催場所	米崎町コミュニティセンター	
出席議員	挨拶 藤倉 泰治	
	司会進行	佐竹 強
	報告者	清水 幸男
	記録者	菅原 悟(副班長)・菅野 定
	出席議員	上記のとおり
参加人数		
主 な 要 望・提言等	<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このような報告会よりも頻繁に仮設住宅を訪問してほしい。 ・復興事業の進捗状況及び今後の見通しはどうか？ ・農作物の放射能被害に対する補償はどうなっているのか？ ・早期の放射能被害の補償に関して、議会として強く要望してほしい。 ・高台移転事業を早急にしなければ、助成金支給の期限が切れてしまうのでは？ ・浸水地の買い上げ価格は決定したのか？ ・市民アンケートに農免道より南側に道路を新しく整備すべきと提言したが、復興計画に反映されていない。(アップルロードと繋げてはどうか) ・市長直送便に関して、市民から寄せられた意見・提言に対して、回答はしないとしているが、どういうことか？ ・防潮堤の高さについての詳細な説明をしてほしい。 ・防潮堤について市長は国・県の意向が分からないからと言うが、背後地利用の関係も含めて、明確な説明が必要。 ・議会報告会への市民参加が少ない。 ・「議会だより」に議会報告会で市民から出された意見・提言等を掲載しては？ ・高台移転の進捗状況を報告してほしい。 ・T P P 参加反対の請願に関して、議会において不採択としたが、何故か？ ・出席議員は個人的にどう思っているのか？ <p>※出席議員、回答せず。</p>	
所 感	<p>藤倉 泰治</p> <p>議会に対しても市政に対しても、真剣な意見・提言が出された。本格的に住宅、漁業や防潮堤、それに放射能のことなどを考えており、不安が増している時期と感じた。議会としての役割を痛感した。また、議会報告会で議員個々の考えも聞きたいという意見もあった。</p> <p>清水 幸男</p> <p>高台移転や防潮堤、浸水地の買い上げ等復興に係る進捗状況と今後の見</p>	

通し及び放射能汚染等に係る補償問題の関心の高さを改めて感じた。

また、この報告会で市民から寄せられた意見・提言等について、「議会だより」での活用も貴重な提案として頂いてまいりました。

菅原 悟

米崎会場は約15人の参加で、まず冒頭に出されたのは、このような報告会を行うより、仮設住宅に頻繁に来て話を聞いてほしいという提言をされた。

また、防潮堤の高さに関する意見や背後地利活用に関する意見が多く出された。

菅野 定

陸前高田市の事業の進捗状況を心配し、また放射能の影響で農家は死んでしまうとか、防災集団移転の協議会や高台移転の話し合いが進んでいないとか、もっともっと説明会を開き、当局と私たち議員が市民と一緒に問題の解決をしていかなければと感じた。また、自分たち議員が当市の事業計画(スケジュール)をはっきりと言えないのがとても残念でした。

陸前高田市議会議長 殿

平成24年5月31日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成24年度議会報告会第3班

班長 藤倉 泰治 ㊞